



令和8年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和8年6月30日(火)14時00分から
場所	日宇地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	・道路整備プログラムについて ・「すずかけ」について
出席者	地域参加者15名、市長及び関係部局長等4名 合計19名
オブザーバー	市議会議員2名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- 佐世保市は令和6年度、市道の計画的整備を目的として、道路整備プログラム見直しを実施された。プログラム見直し後は、直ちに事業推進を目指して実施部門である土木の道路整備課が、令和7年度当初から動かれることになっていた。現在はすでに8年度に入っているが、この1年2ヶ月において、プログラムに計上されたほとんどの路線について、まだ事業の調査や工事に着手するという連絡があっていない。最低でも年1回は、路線別の報告が欲しい。今後、この整備プログラムをどのように進めていかれるのか、具体的に教えていただきたい。

土木部長

- 道路整備プログラムについては、令和元年から始まって、令和6年度に運用の見直しを行っている。
日宇地区自治協議会とも話し合いの結果、対象箇所が11ヶ所あげられており、その中でまだ連絡がないという話を先ほどいただいた。確かに自治協議会、地元の自治会長さんにしっかりと報告を差し上げていなかった。大変申し訳ない。今後はこういうことがないように、しっかりと対応させていただきたい。
今後の進め方として、最低でも年1回は自治協議会の方と、進捗状況や今後の進め方について議論させていただければと思う。11ヶ所あるが、とにかく早くやれることから対応していきたい。財源、予算、あと地域の協力が前提となっているので、今一度皆さんと議論を重ねながら、道路整備プログラムを進めていきたい。



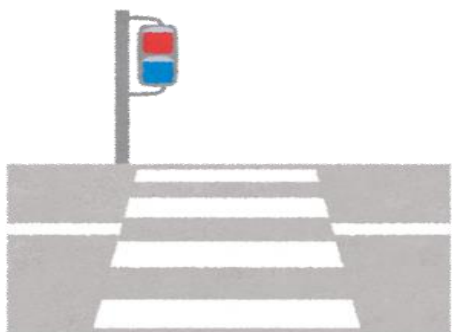
令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

市長

- 佐世保市では、令和6年度より道路整備プログラムというものを作り、その中で優先順位をつけながら、集中と選択を行いながらこの事業を進めている。

その優先順位については、地元の皆様方のご理解もいただきながら、この順位をつけさせていただいたところであるが、その後の経過や取り組みについて説明がなかったことについては、大変遺憾であり、私の方からも心からお詫びを申し上げます。部長が申したとおり、今後は少なくとも年1回は地元の皆様方にこの進捗等も説明をさせていただきながら、ご協力をいただくところをお願いをさせていただきたい。



地域参加者

- 日宇地区の優先順位の第1位は日宇小学校周辺の通学路。日宇中学校の方から日宇小学校の方に上がる道で、ここが狭くて危ないということで、35、36年前に歩道整備をしてほしいと、ビデオつきで教育委員会の方に要望した経緯がある。平成27年度に、改めてまた要望したが、全く対応がなされずに今まで来ている。今度の道路整備プログラムの中では、6位か7位で上がっていたが、子供たちの命に関わるということで第1位にあげている。ところが、私の知る限り、それがどこまで進んだのか、自治協議会として出しているの、自治協議会の方に報告を欲しかったのだがこれまで全くなかった。今後において、この第1位の部分については、自治協議会で受けていきたいと考えているので、連絡をお願いしたい。
- 生徒数が減ったとはいえ、かなりの生徒が通学している。早期の工事着工を希望する。全面的な拡幅は難しいという話を聞いたが、全体的でなくとも、一部すごく狭くなっているところがある。そこだけでも優先的に着工していただきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

土木部長

- 優先順位の1番、貸付中野線という市道の件について、全面拡幅は難しいのではないかという話があった。私も通ってみて、山祇神社から日宇小学校に向かって、左側が農地で右側がかなりせり立った斜面となっており、中々全線の拡幅は難しいかなと。おっしゃるとおり、部分的な拡幅であればそこは可能かと思う。担当の道路整備課に確認したところ、地主さんにはあたっているということなので、その辺の状況も踏まえて、今後自治協議会にお話をさせていただきたい。

市長

- 優先順位の1位である、貸付中野線の問題について。見守り隊の皆様方が、本当に子供たちをしっかりと見守っていただいていることに改めて感謝を申し上げたい。そうした中で、予算については、まず、しっかりと確保することが重要であり、我々も積極的にその対策に取り組んでいきたい。ぜひ地元の皆様方のご支援もよろしくお願い申し上げます。

地域参加者

- 大塔小学校の通学路に関して、いつも学校運営協議会では子供の飛び出しが問題になる。そこで、子供たちにも分かるような道路の表示などができないか。ただそこは国道とかを挟んでいるので、所管の問題が出てくる。また警察の問題もある。木崎のところから左側。警察の管轄も分かれています。なかなか進まない。そういう点で、市がつなぎというかそういう形も含めて改善できないか。
- 道路の外側線とか、中央線、一旦止まれの表示がほとんど消えてしまっている。外側線中心線を1日でも早く引いていただければ。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

土木部長

- 大塔小学校の国道の件。卸団地を見て右側と左側で管轄が分かれている。国道の件ということだが、市を通じて国土交通省の方にも話ができるので、土木部の方に言っていただければ一緒にやって対応したい。
- 外側線の件。規制に関することは公安委員会。指導停止線とか外側線、中央線が引いてあったものが消えている場合は、道路管理者の所管になる。道路パトロールを行ってはいるが、市道1,800kmを管理しているのでなかなか難しく、できればそういったことを教えていただきたい。本当に危険という状況であれば、道路管理者の責任のもとに対応したい。要望書を出していただければ、現地を確認のうえ対応したいと思う。

市長

- もみじが丘町自治会長からは、大塔小学校の道路標示、また副会長からは中央線や停止線の消えかかった部分が多いというお話をいただいた。私も、昨今やはりこの点が非常に遅れている、疎かになっているということを感じている。今部長が申したとおり、やはり安全性というのが大事であるため、急いで整備をしなければならないところは、できるだけ優先順位をつけて、しっかりと関係先にも強く要望していきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- 市は日宇地区において、斜面地に居住する住民のために、令和6年度から路線定期運行型乗り合いタクシーすずかけの運行を開始された。

そして2年目の令和7年度途中において、停留所の一部見直しなどを行い、基準の2.0人を若干上回る結果となり、引き続き8年度も運行が可能となったが、主婦層が望んでいる便利さの追求に力を入れなければ、自ずと消滅するのではないかと危惧している。車を運転しない主婦層が望んでいる便利さというのは、このすずかけの運行が、もっと他の商業施設(白岳イオンやマックスバリュ)や、病院(中央病院)などと繋がることである。

7年度において、このことを具体的に要望したが、これ以上の商業施設とのリンクは、その商業施設が既存のバス路線にあるという理由によって、採用できないという結論に至った。しかし、商業施設に繋がる既存のバス路線は便数の極端に少ない路線である。そのことに鑑み、追加で採用していただけるよう再検討をお願いしたい。これは、バス会社などの関係各位との調整が必須であるということは十分に理解したうえでの要望である。

- 黒髪ルートは、商業施設の近くを通るというルート変更によって1.7人から2.0人に改善された。しかし、大和町の方がなかなか改善しない。大和町の方には大きな病院がある。奥地の方には商業施設もいっぱいある。

ただバス路線になっているからというだけで、認可が下りないというのは市民側に立つと問題があるのかなと思う。そのルートはバスの便が少ないため、なかなかバスを利用しようという人がいないのに、タクシーも駄目だと言われても、何のためにタクシーをルートを決めてやるのか、市民側としては理解がしがたい。何か一定の基準でもいいから、近くにルートを考えて欲しい。バスが少ない路線であるためご理解をいただきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域未来共創部長

- いわゆる交通不便地区対策として走っている、コミュニティバスすずかけの運用にあたっては、繰り返しになるが、路線バスとの並行した運行ができないという、全国的、全市的なルールがあり、何とかここに挑もうと、我々も日々検討をしているが、まだ乗り越えるところまでは至っていない。今日は明確にその対応ができるということまで申し上げられない。今のところ難しい状況である。
何とか今までも、運行時間の見直しであったりとか、停留所の新たな設置工夫であるとか、そういうところで利用する方々の利便性に配慮しながら改善を図ってきた。路線バスに係る環境変化、そういったところも見極めながら、交通事業者とも連携しつつ、状況によっては、今回ご要望のような必要とされる対応についても、全く閉じるわけではなくて引き続き協議をさせていただければと思うのでご理解をいただきたい。

市長

- すずかけについて、停留所の見直しや商業施設での停留時間の延長など、工夫を加えて利用の頻度を上げていただいた。まさにこの定期路線、運行について利便性を上げていくことが重要だと思っているので、商業施設へのさらなる立ち寄りという話もあったが、そうしたこともしっかりと受けながら、これから利便性の向上に努めていきたい。
これからこの地域公共交通というのは、市政にとっての最大の課題の1つだと思っている。それから民間の事業者の皆様方との共存共栄というものを図りながら、やはり重要なのは、市民の皆様方の利便性というものをできるだけ損なわないこと、ここが一番肝心なところだと思っているので、様々な情報を取りながら、これからの地域交通というものを何とか維持できるよう頑張っていきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- 日宇町3組の町内会長で、このすずかけに関しては、私どものルートが一番利用数が多い地区である。市長の99の政策の中にも、デマンドバスとかコミュニティバスを充実させるという政策がある。もう少し私たちがたくさん利用できるような、商業施設の近くまで停留所をもって行くとか、そういうのを検討していただければと思う。これに関しては、三川内の方では基本的に町内を通るだけであって、よそに行くときにほとんどあまり利用できないという話も聞く。その辺まで含めて検討いただければ。是非とも長く続けたいと思っている。大和町の方も、ルートが変わればかなり利用者が増えるんじゃないかなと思うのでお願いしたい。

市長

- 他地区の方でも、いろいろな形で今導入が進んでいる。またそれぞれの地区でも、いろいろな要望があると承知している。それぞれの地域の皆様方としっかりと話をしながら、利用頻度の向上に努めていきたい。

地域参加者

- 今、日宇支所、コミセンの建て替えを推進していただいている。2点だけ質問したい。
1つ目。すずかけの拠点が今この支所前。この拠点を、建て替え現場の片隅に今までどおり、場所は少し変わってもいいから確保をしていただきたい。停留所の代替えを探したが、この周辺には拠点になるような場所がない。市民生活部の方で何か策を考えていらっしゃるのであればお聞かせいただきたい。もし、これからの検討であるということであれば、可能な限り、現在地に停留所を設けて継続の運行をお願いしたい。
2つ目。もみじが丘の仮事務所までの臨時の交通手段を確保していただきたい。例えば、すずかけを増便するとか、工事費にタクシー代を計上するとか、何らかの方法でお願いをしたい。現在、日宇町のバス停を通過する9時ぐらいから4時半ぐらいまでのバスが約200便近くあるが、日宇駅を通過してもみじが丘に行く便は30便足らず。もみじが丘の支所の仮事務所がオープンした後、必ず市民から苦情が来ると思う。バスでの交通手段しか持たない人は、極端に便数が少ないので、



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

ものすごく不便を強いられるのではないか。建替工事の当事者として、また、支所業務の当事者として、住民の交通不便に対する対応をお願いしたい。

地域未来共創部長

- 今の日宇支所前は、すずかけの運行のまさに起点となっている停留所である。今後、その時々の工事の状況等にもよるが、現在の位置、または近接地で継続するというを基本に、市民生活部、土木部等と各種調整を進めていきたい。その際には地元地域の方々にも、何かとご相談、ご確認させていただくことがあるかと思うが、よろしくをお願いしたい。
もう1つ、もみじが丘町の体育室の方に仮設ということで、すずかけの増便について。このすずかけの運行、増便にあたっても、恐縮であるが、先ほどと同じようなルールというものが適用される。こちらについても、便数は1時間に一本程度

ではあるが、路線バスが通っているという状況であるため、ここに並行してすずかけをといるところについてはルールの壁があって、今日それについて対応をできるというところまで言及することはなかなか難しい。当然ご承知のとおり、1時間に一本程度ではあるが、それぞれ大和町、白岳、日宇の方から、また、大塔の方からも直接、比較的短時間で路線バスでお越しいただくということも考えられる。ただ、施設工事に伴い一定期間ご不便をおかけすることになるが、路線バスでの移動というところについて、一定ご配慮をいただきたい。

また、支所に直接来られるということではなくても、例えば郵送であったりとかスマートフォン、そういったものを通じて手続きできるものもだんだんと増えてきている。改めてご確認いただき、もし分からない場合などは遠慮なく市役所の方にお問い合わせいただくなど、行政としても、移動してこれなくても手続きが済むような対応というところについても配慮して参りたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

市民生活部長

- 解体工事中のすずかけ号の停留所について、解体する業者が決まったら、停留所をまず置けるかどうかという協議を早急に行いたい。私どもとしては、今の停留所は、工事期間中もスペース的に確保ができるのではないかと見込んでいる。しかし、施設の解体の仮囲いであったり、工事車両が頻繁に行き来をすると思うので、そういった面から、業者との詳細な調整が必要となってくる。場所の調整等は若干必要になる可能性はあるが、地域の皆様からいただいている要望として、バス停の確保を前提として調整をしていく意向である。

今回、建て替えに伴って、仮移転の候補地は7ヶ所あったが、可能な限り必要な要件を満たす適地を選定した。どうしても今の日宇支所の立地が非常に好立地であるということの反面から逆に、どのような候補地をもってしても一長一短がある。確かに、公共交通機関を利用される方については、今の場所からするとご不便をおかけすることになると思うが、バスの公共交通機関が一定通っていること、それと周辺人口も一定多い場所への仮移転ということでもあるので、私どもと

しては、新たな場所で支所をご利用いただくようになった際に、どのようなお声が上がってくるのか。そういったものを注視したい。例えば、現在市内7ヶ所の郵便局に、マイナンバーカードの電子証明書の発行を委託している。それは今、日宇郵便局で行ってはいない。理由というのが日宇支所が近くにあるから。例えば、日宇郵便局での取り扱いを、新たに追加するかということについては、今後の仮設支所の利用状況や市民の皆様の声によっては検討できるのではないかと考えている。先ほど地域未来共創部長から、支所に行かずともできる手続き、例えば、マイナンバーカードをお持ちであれば、住民票や、戸籍の謄本、印鑑証明書など、取れるようになっているので、私ども市民生活部としても、お尋ねがあったときには、丁寧なご説明をしていきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- もみじが丘から木風のバイパスについて、これが非常に交通量が増えている。特にチューリップという特養施設の下辺りの国道沿い、ここが毎月1、2回は事故があっている。そこを通る小学生とか年配の方とか結構おられるが、まず朝晩はかなり交通量が多いため通過ができない。何度か横断歩道とかもしくはできれば信号機とか、1つでもつけてもらえれば、少しは緩和されるんじゃないかということを言っているがなかなか進展しない。そこで何かいい解決案がないかお尋ねしたい。

土木部長

- 信号については、規制に関することなので警察の公安の方の分野になってくる。具体的な場所を教えていただいて個別に対応させていただきたい。私の方から道路維持課の方へ話をしておく。

地域参加者

- 黒髪町3組の裏の道路拡幅の件、もう十分話をしている。土地のことについて解決しそうな雰囲気、また明日お会いするのでお力添えをいただければありがたい。

土木部長

- 黒髪町3組の道路拡幅の件は、明日現地確認を行ったうえで、しっかりと対応する。

市長

- 黒髪小裏の道路について、副会長から地権者の皆様方への対応をお話をいただき、本当にありがたい。市としてもしっかりサポートをしていながら、1日も早い解決に向けて努力をしていきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- 市長が立候補されるとき99の政策の中に、インターチェンジ、高速、そういうところの一角の調整区域の線引きを見直すというものがあった。今日、建築が佐世保市内は厳しい。波佐見とか佐々とか、川棚とか、そういうところに建築物が増えている。人口減少の中で、少しでも建築しやすいような、先程の政策の中の解決といいますか、そういうことができないものかお尋ねしたい。



市長

- この件については、今月6月の定例市議会の一般質問の中でも取り上げられ、私も答弁をさせていただいた。結論を申し上げれば、基本的に我々としては緩和の方向で進めていきたい。そのためにはいろいろな課題もあるため協議会なども設置して、いろいろな専門家、学識経験者の皆様方からのご意見も聞いて、どのような部分をどのように緩和をしていくかということを協議し、皆様方の利便性が上がるような仕組みを作っていきたい。仮に、線引きをとっぱらってそれぞれの施設や住宅などが建てられるというふうになれば、それに伴うインフラ整備をしていかなければならない。特に水道などのライフラインが最も重要なものであるため、整備をしていかなければならない。さらにはその負担が事業にかかってしまうため、見合いというものを考えながら、専門家の皆様方のご意見もしっかり聞いて、できるだけ早く緩和の方向にしていきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

地域参加者

- 敬老パスについて。先日、市の方から聞き取り調査ということで、自治会のみなさんと話し合いを行った。皆さん、健康のためとかではなく、安くてバスに乗れるということで使っておられる方がほとんどでないか。自治会の中では、使っている方の高齢化が進んでいる中で、たくさんの方が利用されている。これが撤廃になるといううわさが出ておりまして。自己負担が増えてもいいから、敬老パスそのものは残していただきたい。

市長

- 敬老パスそのものをなくすという考えはございません。ただ、今日宇町一組自治会長からお話いただいたとおりに、対象者の半分しか敬老パスを持っておらず、さらに利用している方はもっと少ないというような状況の中、バスの減便や廃線の問題がある中で、なかなかその恩恵を受ける人が少なくなってきたことを鑑みたときに、その公平性ということを考えれば、制度自体を見直すべきじゃないかと思っている。
すでに審議会に諮問して答申は一旦出たものも、やはりいろいろな声が強くあったため、1回ゼロベースで地域の皆様方にご意見を伺うということで、今、27自治協それぞれお伺いをして、説明と、またご意見についてお伺いをしているところ。このご意見をもとに、これから制度設計というものをしっかりと図っていきたい。



令和8年度日宇地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:・道路整備プログラムについて
・「すずかけ」について

